

広島大学
公開講座
2021
(前期)



広島大学 学術・社会連携室 地域連携部門

後援：広島県教育委員会・広島市教育委員会・東広島市教育委員会

目次

2021年度前期 申込・受講について	2
1. ひろしまバイオデザインオンラインセミナー	5
5/28 6/25 1/14 1/28 金曜日 15:00~16:30 6/28 1/31 月曜日 13:00~17:00	
2. 宇宙に生命を探すⅡ	6
6/12 6/19 6/26 7/3 土曜日 16:00~17:30	
3. グローバル社会・大学・地域を結ぶ	8
6/16 6/23 水曜日 14:35~16:05	
4. イノベティブ企業家	10
6/22 6/29 7/13 7/20 火曜日 16:20~17:50	
5. 発展途上国の教育開発と国際協力	12
6/23 6/30 7/7 7/14 7/21 水曜日 18:00~19:30	
6. 「日本の中のエキゾチシズム」について	14
7/1 7/8 7/15 7/22 7/29 8/5 木曜日 19:00~20:30	
7. 東広島日本酒学	17
7/24 7/31 8/7 土曜日 10:00~11:30	
8. 時事問題を経済学的にひも解く	18
7/31 土曜日 9:00~10:30 10:40~12:10 13:10~14:40 14:50~16:20	
9. SDGsに貢献する化学の工学：研究の最先端	19
8/21 土曜日 9:00~9:50 10:00~10:50 11:00~11:50 13:00~13:50 14:00~14:50 15:00~15:50	
10. 科学的フィットネスの理論と実技	21
8/21 8/28 土曜日 15:00~16:30	
11. やってみよう「法的思考」で身近な問題解決	22
9/4 土曜日 13:00~14:20 14:30~15:30 15:40~16:40	

2021年度前期 申込・受講について

※今回（2021年度）から手続き方法が大幅に変わります。

1. 広島大学公開講座のページから申込フォームを開いてください。

【受講にあたっての注意事項】

- ・ 受講申込期限
 - 無料講座：各講座の第1回目の授業開始日の1週間前
 - 有料講座：各講座の第1回目の授業開始日の2週間前
- ・ 申込は先着順です。定員に達し次第申込は終了とさせていただきます。
- ・ 申込期限を越えた講座や定員に達した講座は、申込フォームに表示されていません。
- ・ 2021年度前期に開講する講座（有料講座を除く）は、修了証書は交付しません。

No	講座名	募集定員	授業開始日	申込期限
1	ひろしまバイオデザインオンラインセミナー	100	5/28 (金)	5/21 (金)
	ひろしまバイオデザインオンラインセミナー（有料）	10	6/28 (月)	6/14 (月)
2	宇宙に生命を探すⅡ	300	6/12 (土)	6/7 (月)
3	グローバル社会・大学・地域を結ぶ～異文化との接触に備えて～（英語・日本語使用）	10	6/16 (水)	6/9 (水)
4	イノベティブ企業家	100	6/22 (火)	6/15 (火)
5	発展途上国の教育開発と国際協力	30	6/23 (水)	6/16 (水)
6	「日本の中のエキゾチシズム」について～異国への憧憬・畏怖、そしてそのもたらすもの～	100	7/1 (木)	6/24 (木)
7	東広島日本酒学	300	7/24 (土)	7/19 (月)
8	時事問題を経済学的にひも解く	50	7/31 (土)	7/26 (月)
9	SDG s に貢献する化学の工学：研究の最先端	40	8/21 (土)	8/16 (月)
10	科学的フィットネスの理論と実技	50	8/21 (土)	8/16 (月)
11	やってみよう「法的思考」で身近な問題の解決	20	9/4 (土)	8/30 (月)

【申込フォームのアクセス方法】

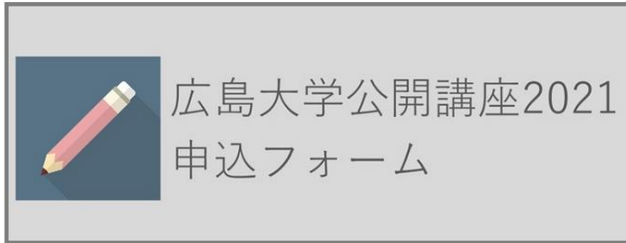
①広島大学公式ウェブサイト <https://www.hiroshima-u.ac.jp> を開いて、「社会・産学連携」をクリックしてください。



②「社会・産学連携」のページのメニューから「地域連携」の「広島大学公開講座」をクリックしてください。



- ③「広島大学公開講座」のページにある申込フォームのバナーをクリックすると、申込フォームが開きます。



2. 申込フォームに必要事項を入力し、送信ボタンをクリックしてください。

【申込手続きの注意事項】

- ・送信ボタンをクリックすると、しばらくして登録したメールアドレスに、申込内容が送られてきます。
もし、送られてこない場合は、迷惑メールのフォルダに届いている、またはメールアドレスの誤入力などの可能性があります。
まずは、迷惑メールのフォルダなどを確認してください。
それでもメールを受信していない場合は、メールアドレスの誤入力の可能性がありますので、再度申込をお願いします。
- ・送られてきたメールは、申込の控えとなりますので、講座終了まで大切に保管してください。
- ・有料講座については、申込期限終了後に、受講料振込手続きの説明を記載したメールをお送りします。

※受講料振込手続きのメールは、お申込みいただいた講座ごとにお送りしますので、複数の有料講座を申し込まれた方は、合計金額を一括で振込をお願いします。（受講する講座は、申込確認メールなどでご確認ください。）

3. 授業開始の前日までに、授業担当者から、受講に必要なウェブ会議（Zoomなど）のURLが届きます。
4. 当日は、メールに書いてあるURLからウェブ会議（Zoomなど）を開いて、受講してください。
※スマートフォン、パソコンなどの操作に関するお問い合わせには、対応できかねますので、ご了承ください。

1 ひろしまバイオデザインオンラインセミナー

概要

- インドと連携した広島大学でのバイオデザインの取組み、及び、バイオデザインによる医療機器開発の概要について紹介します。
- バイオデザインによる医療機器開発プロセスの一部について、参加者をチームに分け、事前に準備した動画資料等を使って、ワークショップ形式で簡易的に体験してもらいます。

会場

オンライン (ZOOM)

時間

- ① 15:00～16:30
- ② 13:00～17:00

定員 対象

- ① 100名
- ② 10名/イノベーション、デザイン思考、バイオデザイン
あるいは医療機器に興味のある方どなたでも

受講料

- ① 無料
- ② 4,000円

講師

学術・社会連携室 准教授 木阪智彦 共同研究講座講師 松浦康之

第1回

5/28 (金)

①15:00～16:30

インドとバイオデザインについて

バイオデザインの取組みについて、インドでの活動を中心に紹介します。

第2回

6/25 (金)

①15:00～16:30

バイオデザインの概要について

広島大学でのバイオデザインの取組み、及び、バイオデザインによる医療機器開発の概要について紹介します。

第3回

6/28 (月)

②13:00～17:00

バイオデザイン体験ワークショップ

バイオデザインによる医療機器開発プロセスの一部について、ワークショップ形式で簡易的に体験していただきます。
(観察～ニーズの特定・選択～コンセプト創造・選択)

※1月にも同内容で開催予定です。

講座内容に関する お問い合わせ先

学術・社会連携室バイオデザイン共同研究講座 担当 溝隈

電話:082-257-1992/1555 メール:biodesign@office.hiroshima-u.ac.jp

2

宇宙に生命を探すⅡ

概要

前年度の「宇宙に生命を探す」の続編として、パートⅡの講座を開催します。地球の生命は、どこからやってきたのか。生命についての起源を考えると、地球内では話は完結せず、宇宙の起源をあきらかにすることにもつながります。138億年にわたる壮大な宇宙の歴史、銀河、恒星、ブラックホール、太陽系、生命の起源などについて考えていきます。そして、小惑星探査機「はやぶさ」や「はやぶさ2」の成果、地球外生命の探査等についても紹介します。

会場

オンライン (ZOOM)

時間

16:00~17:30

定員
対象

300名
どなたでも

受講料

無料

講師

学術・社会連携室 学術顧問 観山正見

第1回
6/12 (土)
16:00~17:30

「宇宙の不思議」

1995年にマイヨール教授（2019年ノーベル物理学賞）たちが太陽系外の惑星を発見して以来、宇宙には三千を超える惑星が存在し、中には地球と同じような環境の惑星も見つかっています。

「宇宙に生命を探す」試みは、今後の大きな天文学や宇宙物理学の目標となってきました。初回は、宇宙と私たちのつながり「宇宙の不思議」を概観します。

講師

大学院先進理工系科学研究科 教授 藪田ひかる

第2回
6/19 (土)
16:00~17:30

太陽系における地球生命の誕生

約46億年前の太陽系形成史を記録する、隕石・小惑星・彗星などの小天体は、地球を含む惑星と生命を作った材料です。これらを最先端の化学分析手法で調べることで、地球生命を構成する水と有機物の起源と形成の謎に迫ることができます。2020年12月

「はやぶさ2」が持ち帰った小惑星リュウグウ試料の分析への期待を、お話しします。

講 師

大学院統合生命科学研究科 教授 長沼毅

第3回

6/26 (土)

16:00~17:30

地球の極限生物からみた地球外生命の可能性

天文学や惑星科学から「宇宙には地球みたいな天体はたくさんある」ことが分かりました。一方、生物学からは「地球にはこんなスゴイ生きものがあるんだ、これなら宇宙でもやっていけるかも」という希望が語られるようになりました。深海の海底火山や南極の氷の下などの「極限環境」に住んでいるスゴイ生きものの面々を、ご紹介いたします。

講 師

学術・社会連携室 学術顧問 観山正見

第4回

7/3 (土)

16:00~17:30

地球外惑星の生命の探査

太陽系外に惑星を見つけることは、天文学者の大きな夢でした。ついに、1995年にマイヨール教授とケロー博士によって達成されましたが、それは、彼らの努力と同時に幸運もあった結果でした。今や、三千個を超える惑星や惑星系が発見されており、そこに生命の存在を確認する計画が様々に立案されています。高等生命を探る試みもあります。

講座内容に関する

学術・社会連携室 地域連携部門

お問い合わせ先

電話:082-424-5691 メール: chiikirenkei@office.hiroshima-u.ac.jp

3

グローバル社会・大学・地域を結ぶ ～異文化との接触に備えて～（英語・日本語使用）

Connecting Global Society, University, and Local Society ~Preparing Yourself For Intercultural Contact (English & Japanese)

概要

本講座は、大学における国際教育を体験してみたい方に向けて英語・日本語を使用して講義を行います（スライドは英語と日本語で提示、英語・日本語で随時支援します）。グローバル社会におかれた大学の変革、国際化の課題、地域社会と協働する多文化共生のための教育的施策、異文化間理解について講義します。地域国際化について考察しつつ、グローバル社会における大学の国際教育と地域社会との連携の方策を探るべく、世界各国の留学生が地域と協働して取り組む実践プロジェクトも紹介します。（英語が話せなくても参加可能）

English speaker's attendance is welcome.

会場

オンライン

時間

14:35～16:05

定員 対象

10名/異文化間理解・地域国際化に興味のある方

Any person who has interest in intercultural understanding and internationalization of university and local society

会場

無料

講師

森戸国際高等教育学院 准教授 恒松直美

第1回

6/16 (水)

14:35～16:05

グローバル社会と大学国際化

Global Society and Internationalization of University

今、大学はグローバル社会における世界競争力の中で、国際化を推進する制度改革を進めています。国際的視野から見た時、大学には何が期待され、大学はどのような課題に直面しているのかについて幅広い視野から捉え、大学がおかれている現状を学びます（大学院生と共に受講します。留学生にも参加を募ります。）

異文化間コミュニケーション：カルチャーショック Intercultural Communication: Culture Shock

第2回
6/23 (水)

14:35~16:05

ダイバーシティとインクルージョンとは？異文化間コミュニケーションとは何か？カルチャーショックと逆カルチャーショックとは？

言語メッセージと非言語メッセージや文化の構成要素などについて、事例も交えつつ様々な角度から捉え、異文化間理解について学びます。

(大学院生と共に受講します。留学生にも参加を募ります。)

講座内容に関する
お問い合わせ先

広島大学 森戸国際高等教育学院 担当 恒松直美

電話:082-424-6279 メール: ntsunema@hiroshima-u.ac.jp

広島大学 森戸国際高等教育学院とは

森戸国際高等教育学院は、広島大学の学内共同教育施設として学内外における日本語・日本文化を充実させるとともに、海外との学生交流を推進し、グローバルキャンパス化の推進を図ることを目的に、平成30年10月に（国際センター改組により）設置されました。

4

イノベーター企業家

概要

本公開講座は、本年度で13年目を迎えます。グローバル化において日本の自動車産業をリードしてきた日産自動車、「8K+5GとAIoTで世界を変える」という事業ビジョンのもと、シャープ株式会社から分社化した株式会社AIoTクラウド、グローバルなブランドへ展開し成功している広島発のカルビー株式会社、世界のトップ企業であるデンソーのものづくりの技術経営と欧州の最新の技術開発などのマーケティング戦略やベンチャービジネスの成功事例などを通じて、最先端な企業経営の実践と研究開発の最新動向について学びます。

会場

オンライン

時間

16:20~17:50

定員
対象100名
どなたでも

受講料

無料

講師

先進理工系科学研究科 特任教授 **伊藤孝夫**

株式会社AIoTクラウド プラットフォーム事業部

AIソリューション開発部長 **宇徳浩二**

第1回

6/22 (火)

16:20~17:50

ガイダンス・

シャープグループのAIoT技術開発の事例紹介

シャープグループである株式会社AIoTクラウドが進めているAIoT事業の技術開発を事例を交えてご紹介します。

講師

日産自動車株式会社 パワートレイン技術開発本部

エキスパートリーダー **木村修二**

第2回

6/29 (火)

16:20~17:50

2050年カーボンニュートラル社会に向けた将来展望

世界的に地球温暖化への取り組みが加速する中、2020年10月26日、菅総理の所信表明演説にて「2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする」と宣言、日本国内においても、カーボンニュートラルに向けて大きく動き出しました。本講義では、カーボンニュートラル実現のための課題と世界の最新動向を紹介しながら、自動車業界における将来展望について分かりやすく解説します。

講 師

カルビー株式会社代表取締役社長兼CEO 伊藤秀二

第3回

7/13 (火)

16:20~17:50

技術移転とイノベーション：カルビーの事例

1949年に広島で創立したカルビーは、2019年に70周年を迎えました。この間、「かっぱえびせん」や「じゃがりこ」「Jagabee」など、社会的背景や変化するニーズを捉えた独自の商品を開発してきました。これまでのカルビーの成長の道について、また海外展開やイノベーションの事例、これからのグローバル食品企業へ向けた挑戦などをお話しします。

講 師

国立研究開発法人科学技術振興機構 挑戦的研究開発プログラム部

シニアフェロー 中川雅人 (元^(株)デンソー、FEV JAPAN^(株)CTO 取締役)

第4回

7/20 (火)

16:20~17:50

欧州流技術開発の最前線～効率的・合理的な開発アプローチ～

BMWの発祥は、その名前から判る様にバイエルン地方の小さなエンジン工場にしかすぎませんでした。
今ではプレミアムカーの筆頭として世界をリードしています。
その秘訣は、欧州流の“開発流儀”にあります。欧州在住14年の経験から「欧州流開発の最前線」を解説します。

講座内容に関する
お問い合わせ先

学術・社会連携室学術社会連携部支援グループ (VBL)

電話:082-424-7880 メール: vbl@hiroshima-u.ac.jp

5 発展途上国の教育開発と国際協力

概要

広島大学大学院人間社会科学研究科国際教育開発プログラムでは、前身の国際協力研究科の時代から長年にわたり、国際協力機構(JICA)などの内外の国際機関と連携しつつ、発展途上国への教育協力や教育開発課題の研究に取り組んできました。本講座では、本学による国際教育協力の取組みや研究の一端を紹介することを目的として、アジア・アフリカ諸国への教育支援や教育開発の諸課題についての講義を行います。

会場

オンライン (ZOOM)

時間

18:00~19:30

定員 対象

30名
どなたでも

受講料

無料

講師

人間社会科学研究科 教授 **馬場卓也**

第1回

6/23 (水)

18:00~19:30

ザンビアにおいて子どもを見る目と教育開発研究

開発途上国では、教育改善の一環として子どもの実態に応じた教育が求められています。しかし、子どもの実態に関するフィールド調査に基づいた研究蓄積が十分ではありません。本講義では、実施中のザンビア算数プロジェクト研究の一環を披露し、上記課題に関する知見について議論します。

講師

人間社会科学研究科 教授 **清水欽也**

第2回

6/30 (水)

18:00~19:30

教育開発における日本の授業研究の意義について

我が国の特に理数科教育協力の手法では、「授業研究」の移入スタイルがよくとられます。そこで授業研究が開発途上国において展開される場合、どのような利点と問題点があるか講演します。

講 師

人間社会科学研究科 特任准教授 丸山隆央

第3回

7/7 (水)

18:00~19:30

アフリカにおける学校・地域の協働を通じた教育開発 ～JICAみんなの学校プロジェクトを事例として～

日本はアフリカで過去15年間、学校・地域の協働を通じた教育開発を支援してきました。本講義では、なぜ学校・地域の関係に着目したか、どのように学校・地域の協働が図られたか、どのような教育開発が実現されたか、について、ニジェール等でのJICAみんなの学校プロジェクトの取組みを事例としてお話し、学校・地域の協働の意義について参加者と考えます。

講 師

人間社会科学研究科 准教授 中矢礼美

第4回

7/14 (水)

18:00~19:30

インドネシアにおける国際教育協力を通じた平和構築 ～宗教抗争後地域における兄弟文化教育プロジェクトを事例に～

本講義では、インドネシアの宗教抗争後地域における国際協力において、地域を巻き込んだ学校経営や指導主事育成を通して兄弟文化教育の実現が如何に実施されてきたのかについて紹介し、如何なる国際協力を通じた教育開発が、真に平和な社会の構築に資することができるのか、参加者と議論します。

講 師

人間社会科学研究科 准教授 三輪千明

第5回

7/21 (水)

18:00~19:30

途上国は日本の幼児教育・保育から何を学ぶのか？

国際教育協力において幼児教育・保育の重要性が認識されたのは比較的最近のことです。しかし、日本は長年、この分野の青年海外協力隊員派遣や日本国内での研修を実施しています。途上国の政策立案者や実践者は日本の幼児教育・保育から何を学ぶことができるのでしょうか。事例も取り上げながら、受講生とともに考えます。

講座内容に関する
お問い合わせ先

国際協力学系支援室 担当 諏訪

電話:082-424-6910 メール: koku-gaku@office.hiroshima-u.ac.jp

6

「日本の中のエキゾチシズム」について ～異国への憧憬・畏怖、そしてそのもたらすもの～

概要

エキゾチシズムとは、英語のexoticismを音写したことばで、異国情緒、異国趣味などと訳され、異国への憧れを表すのに使われます。

わが国はユーラシア大陸の東端に浮かぶ島国であり、地理的状况から日本にとって「異国」とは、近代以前においては海を越えてやってくる情報やものが全てであり、優れた異国文化は憧れを持って受け入れられることが多かったと言えます。ただ、そのもたらされた「もの」が、自国にとって必ずしも好ましい効果をもたらすだけではありません。歴史の中には思わぬ展開に至ることもあったようです。

今回の連続講座においては、6人の論者により、日本が憧れをもって接してきた異国文化とその表裏について議論を進めてみたいと思います。

keyword : 異国と理想・畏怖、外来神、身体表象、性の表現

会場

オンライン (ZOOM)

時間

19:00～20:30

定員 対象

100名
どなたでも

受講料

無料

講師

森戸国際高等教育学院 教授 荒見泰史

第1回

7/1 (木)

19:00～20:30

日本、宮島の中に見る異国情緒

日本は、「エキゾチシズム」という概念を以て異国を感じるようになるより遥かに以前から、朝鮮半島や中国からの情報に「異国」を感じてまいりました。そうした「異国」の情報には、文字情報ばかりではなく「もの」や音楽・舞踊といった「行為」も含まれており、当時の人々に生き生きとした「異国」を感じさせてきたに違いありません。中国を経るために中国化される部分が多いのですが、そうした中でも遠くシルクロードを経たインド、西アジアの情報も含まれており、日本人は想像豊かにそれらに耳を傾けていたのです。

本講では、広島に住む我々にとって身近な、宮島に残される「異国」と、それによる意外な展開について考えていきたいと思えます。

講 師

森戸国際高等教育学院 助教 松山由布子

第2回

7/8 (木)

19:00~20:30

広島県における疫病の神の来訪ものがたり

日本には、〈疫病の流行は“疫病の神”によって引き起こされる〉という信仰があります。またそうした疫病の神は、〈日本人の住む領域の外からやってきた“外来の神”である〉とも言われています。現在の広島県東部にあたる備後国は、全国でも有名な疫病の神の来訪伝承の舞台となった場所です。地域文化としての疫病の神への信仰を通して、日本人が目に見えない脅威とどのように向き合ってきたのかについて考察します。

講 師

森戸国際高等教育学院 助教 FERREIRO POSSE DAMASO

第3回

7/15 (木)

19:00~20:30

**日本近現代文学をめぐるエキゾチックな身体表象：
タヒチの女性、スペイン闘牛士の男性**

本講座はまず、文学理論における身体表象の可能性と限界を簡単にまとめて紹介します。その次に、以上の理論に基づいて近現代日本文学で見られる二例、芥川龍之介のタヒチ女性表象と三島由紀夫のスペイン闘牛士の男性表象を詳細に分析し、近現代日本文学におけるエキゾチックな身体表象の表出に関して考察を加えます

講 師

北里大学 一般教育部 講師 風岡祐貴

第4回

7/22 (木)

19:00~20:30

**中島敦における南洋諸島とその描写に現れる外国語について
「寂しい島」を一例に**

本講義では中島敦の「寂しい島」を分析します。語り手は南洋諸島を旅する中でこの「寂しい島」を訪れ、島の印象を伝えます。講義では、異国である南洋諸島の島がどのような語彙を用いて描かれるのかを考察します。

とりわけ作品中のドイツ語などの外国語の用い方に注目します。なお、中島の南洋諸島への考え方を探るため、他作品や日記にも言及します。

講 師

森戸国際高等教育学院 准教授 小宮山道夫

教育の革新

第5回

7/29 (木)

19:00~20:30

西洋諸国から極東と呼ばれた島国「日本」において、最先端の文物は常に海を渡ってもたらされました。古代より海に守られ海外から最先端の文物による刺激を適度に受け容れて独自の文化を育んできた日本ではありましたが、18世紀以降その環境は大きく変わり、特に教育の世界は大きな転機を迎えることとなったのでした。その後の教育の革新に結びつくこととなった「異国情調」は日本に何をもたらしたのか、そして何を失わせたのか、教育の近代化の問題とともに考えてみたいと思います。

講 師

森戸国際高等教育学院 教授 本田義央

日本とインド

第6回

8/5 (木)

19:00~20:30

周知のように、日本には、仏教を通してインドが深く根を下ろしています。仏教伝来以来の長い時間のせいもあるのか、もはやインドが意識されない事柄も多くあります。そして、改めてインドを問うと、カレーとカーストとターバンとIT程度であったりもします。両者間の物理的距離を考えれば交流は必然ではありません。日本にとってのインドとは何なのかということを考えてみたいと思います。

講座内容に関する

お問い合わせ先

国際室国際部グローバル化推進グループ

電話:082-424-6184 メール: kokusai-sien@office.hiroshima-u.ac.jp

7 東広島日本酒学

概要

日本酒関係者による講座を通じて、日本酒に関する幅広い基礎知識を身につけるとともに、それを通して東広島市の地域・文化を知ってもらうことを目的に実施します

会場

オンライン

時間

10:00～11:30

定員 対象

300名
どなたでも

受講料

無料

講師

西条酒造協会 **前垣壽宏**（賀茂泉酒造株式会社 代表取締役社長）
東広島市教育委員会文化課 文化財係長 **吉野健志**
コーディネーター 大学院統合生命科学研究科 教授 **水沼正樹**

第1回

7/24（土）

10:00～11:30

東広島市における日本酒の歴史・伝統

東広島市内の酒蔵について、東広島市が酒処となった背景などを解説します。

講師

独立行政法人酒類総合研究所 醸造微生物研究部門 主任研究員 **金井宗良**
コーディネーター 大学院統合生命科学研究科 教授 **水沼正樹**

第2回

7/31（土）

10:00～11:30

日本酒の科学（発酵（酵母）について）

醸造酒及び日本酒の製造方法、酒造好適米と清酒酵母に関すること等を解説します。

講師

株式会社 今田酒造本店 代表取締役 杜氏 **今田美穂**
広島県立総合技術研究所 食品工業技術センター 生物利用研究部長 **大土井律之**
コーディネーター 大学院統合生命科学研究科 教授 **水沼正樹**

第3回

8/7（土）

10:00～11:30

日本酒の造りについて

日本酒の造りの工程などを杜氏・経営者が自身の体験等を踏まえて説明します。

講座内容に関する お問い合わせ先

大学院統合生命科学研究科 教授 **水沼 正樹**

電話:082-424-7765 メール: mmizu49120@hiroshima-u.ac.jp

9 SDGs に貢献する化学の工学：研究の最先端

概要

地球レベルでの環境負荷が問題となる現在では、持続可能な社会を構築するためにどのような貢献ができるかが重要になりつつあります。新しい機能性材料や効率の良い生産方式の開発、生産プラント設計、及び環境・安全技術に関する学問である化学の工学（化学工学）は、国連が定めたSustainable Development Goals（SDGs, 持続可能な開発目標）への貢献が大きい学問です。本講座では、最近の研究開発動向を例としてわかりやすく紹介します。

会場

オンライン ZOOM

時間

9:00～15:50

定員 対象

40名
どなたでも

受講料

無料

講師

化学工学プログラム 教授 矢吹彰広

第1回 8/21 (土)

9:00～9:50

自己修復性防食コーティング～環境・安全を支える表面処理技術～

金属材料の防食コーティングに要求される技術として、欠陥部の腐食が自然に止まる自己修復性があります。現在、人体の血管構造を模したナノファイバーによる開発を行っています。ここでは腐食防食の基礎と自己修復性防食コーティングについてわかりやすく解説します。

講師

化学工学プログラム 教授 滝島繁樹

第2回 8/21 (土)

10:00～10:50

環境調和型溶媒としての超臨界流体の利用

超臨界流体は温度、圧力によって溶媒能力を変えることが可能です。ここでは超臨界の二酸化炭素と水を溶媒として利用した環境調和型のプロセスを紹介します。

講 師 化学工学プログラム 教授 中井智司

第3回
8/21(土)
11:00~11:50

資源問題の解決に貢献する化学の工学

地球は有限であり、資源を上手に使っていくことが求められます。本講演では、これまで未利用であった排水や有機性廃棄物から有用な脂肪酸を作りだし、それを利用する新しい取り組みについて紹介します。

講 師 化学工学プログラム 教授 都留稔了 准教授 金指正言

第4回
8/21(土)
13:00~13:50

持続可能な省エネ社会を実現する膜分離技術

近年、Nature誌に“Seven Chemical Separations To Change the World”の論文が掲載され、気体、液体混合物の分離、濾過分離など、膜分離プロセスによる省エネ化が注目されています。ここでは新しい分離手法である膜分離法について、分かりやすく解説します。

講 師 化学工学プログラム 教授 福井国博

第5回
8/21(土)
14:00~14:50

木質バイオマス発電燃焼灰の循環再利用法の開発

再生可能エネルギーとして急速に普及しつつある木質バイオマス発電から排出される燃焼灰を再資源化することが、廃棄物の削減・未利用資源の有効活用の観点から求められています。ここでは、再資源化するための方法やプロセスを分かりやすく解説します。

講 師 化学工学プログラム 教授 島田学

第6回
8/21(土)
15:00~15:50

空気中のガス・粒子の振る舞いと環境への関わり

空気中の微量なガス・蒸気などと、空気やガス中に漂う粒子状物質（例えば、PM2.5、ウイルス、放射性粒子、ナノ粒子など）の生成の仕方、運動、付着、捕集などの振る舞い、及び環境、気候、安全との関係について解説します。

講座内容に関する
お問い合わせ先

工学系総括支援室（大学院課程担当） 担当 谷川

電話:082-424-7518 メール : kou-gaku-gakubu@office.hiroshima-u.ac.jp

10 科学的フィットネスの理論と実技

概要

ご家庭でも簡単にできる骨密度や免疫UPに効果的なフィットネスエクササイズ①の理論と実技を実施します。講座では、前半にエクササイズ①の理論をお話し、中～後半で一緒に身体を動かしながら音楽に合わせて楽しいエクササイズを行います。

軽く動ける場所をお部屋の中に確保していただき、リラックスして動ける服装でお気軽にご参加下さい。

会場

オンライン ZOOM

時間

15:00～16:30

定員

50名

対象

どなたでも

受講料

無料

講師

人間社会科学研究科 准教授 黒坂志穂

第1回

8/21(土)

15:00～16:30

フィットネスエクササイズ①

前半 講義：骨を強くするメリット

後半 実技：音楽に合わせた楽しいエクササイズ①

講師

人間社会科学研究科 准教授 黒坂志穂

第2回

8/28(土)

15:00～16:30

フィットネスエクササイズ②

前半 講義：効果的な骨の強化方法

後半 実技：音楽に合わせた楽しいエクササイズ②

講座内容に関する

お問い合わせ先

スポーツセンター

電話:082-424-6143 メール:sports@office.hiroshima-u.ac.jp

11 やってみよう「法的思考」で身近な問題の解決

概要

昨年度に法科大学院（ロースクール）が提供した公開講座「法曹への道案内」では、「1.法曹という仕事について、2.法科大学院の授業風景、3.司法修習の様子、4.法曹養成過程における教育システム」を実施しました。これを受けて今年度は、NHKの人気番組「生活笑百科」で取り上げているような問題を、実際に自分が条文を使って解決してみることで、法的な思考法の一端に触れてみます（刑罰は扱いません）。

法学部に興味のある中高生や法科大学院に興味がある大学生の参加はもちろん、保護者の方も一緒に参加頂けると、法学部・法科大学院は何を学ぶところなのか、また、実際の問題は法的にはどのように考えて解決されるのか、しっかりと理解することができます。

会場

広島大学東千田未来創生センター（対面：高校生対象公開講座）
オンライン（同時・録画：公開講座）

時間

13:00～17:00頃を予定

定員 対象

20名程度
中高生・大学生（その保護者）及び法科大学院志望者など

受講料

無料

講師

法務研究科 教授 **田村耕一** 教授 **神野礼斉** 助教 **山田幸**

第1回

9/4（土）

13:00～14:20

ガイダンス・未成年者がトラブルに巻き込まれた場合

具体的な問題事例は当日にお話します。

第2回

9/4（土）

14:30～15:30

お金に関するトラブル

具体的な問題事例は当日にお話します。

第3回

9/4（土）

15:40～16:40

家族に関するトラブル

具体的な問題事例は当日にお話します。

講座内容に関する お問い合わせ先

広島大学東千田地区支援室（法務研究科担当） 担当 **野田、平野**

電話:082-542-7087 メール:houmu-gaku-sien@office.hiroshima-u.ac.jp

